

食育に関する施策の進捗状況の概要（平成26年度取組実績）

＜施策展開の3つのポイント＞

- I 富山の「食」に着目した「富山型食生活」の確立
- II 家族そろった楽しい食事 で 健全な食生活の実現
- III 家族を中心とした食育を地域でしっかりと支援

【実績の概要】

【主な取組み】

I 富山の「食」に着目した富山型食生活の推進

富山型食生活の普及など
県民運動の展開

- ① 富山型食生活モデルメニューの確立・普及
- ② とやま食育推進フォーラムの開催
- ③ 県食育推進計画の普及・啓発

地産地消の推進

- ① 「越中とやま食の王国フェスタ」の開催による普及・啓発
- ② 学校給食における地場産品の活用促進
- ③ 子どもたちに対する魚食の普及
- ④ インショップの開設等の支援
- ⑤ 女性起業組織等への活動支援
- ⑥ 富山県ふるさと認証食品（Eマーク食品）の認証
- ⑦ 地産地消県民運動の推進

魅力ある食文化の継承・創造

- ① 新たな「とやま名物」商品開発
- ② 「とやまの食」を普及する人材の認定
- ③ 「とやま食の街道」の魅力充実
- ④ 越中料理のブランド化の推進

II 家族そろった楽しい食事 で 健全な食生活の実現

家族そろった健全な食生活の
実現

- ① 家庭教育かわら版の刊行
- ② とやま食材ふれあい講座の開催
- ③ 三世代ふれあいクッキングセミナーの開催
- ④ 富山型食生活普及事業
- ⑤ 若者世代に対する食育講座の開催
- ⑥ 食生活改善チェックシートの作成・活用
- ⑦ 外食産業等と連携した普及・啓発

保育所・幼稚園・学校等に
おける食育の推進

- ① 毎日しっかり朝ごはん事業の推進
- ② 栄養教諭を中核とした「望ましい食習慣づくり」の推進

III 家族を中心とした食育を地域社会でしっかりと支援

地域で支えあう食育の推進

- ① 食育リーダーの養成・派遣
- ② ヤングファミリーに対する食育講座の開催
- ③ とやま子育て応援団制度の推進
- ④ 地域食育推進体制強化事業の推進
- ⑤ バランスアップ健康プロジェクトの実施
- ⑥ 若者を対象とした食育指導の充実

食品の安全確保

- ① 食品安全フォーラムの開催
- ② 食の安全・安心ホームページの運営
- ③ 食品表示講習会の開催

- ① 県内各地域の食育団体が実践している「健康メニュー」・「伝統料理」などの富山型食生活モデルメニューや「とやまの家庭料理メニュー集」について、食育リーダー等の活動や各種イベント、SNS (facebook、ブログ)を通じて普及・PR
- ② 5月にフォーラムを開催（参加者約300名）
- ③ マスメディアや食育関係団体の研修会、イベント等を通じて普及啓発

- ① 30,000人を超える秋の陣、冬の陣の来場者に、富山ならではの食材や「越中料理」、「食生活モデルメニュー」を紹介
- ② 地場産野菜・果実を活用した特別給食を109品目、274校で実施。米飯給食回数は週3.7回
- ③ 高校生等に対し魚食に関するセミナーを5回開催、県内5年生に副読本を配布、学校給食に355千食を提供
- ④ 量販店内の地場農産物を販売するインショップの品揃えの充実等を支援
- ⑤ 「スキルアップ講座」「チャレンジ事業」等により、女性起業組織の新商品開発等を支援（女性起業件数169）
- ⑥ 新たに11商品が富山県ふるさと認証食品に認証（H27.3現在 累計31品目323商品）
- ⑦ 県産品の生産・供給及び消費の拡大の推進に向け、「新・とやま地産地消推進戦略」を策定「地産地消県民交流フェア」開催。「とやまの旬の応援団」の募集・登録（H27.3現在：3,625個人・団体）及び活動支援を行うとともに、県産品の優先的選択の動機付けとなるよう「県産品購入ポイント制度」を実施

- ① 農林漁業者の6次産業化を支援する県単独の支援制度で地域資源を活用した7件の取組みを支援
農商工連携事業により、加工品など6件の商品開発・販路開拓を支援
思わず手にとり、持ち帰りたくなるような魅力ある13商品の開発
- ② 「とやま食の匠」制度の推進により「とやまの食」を普及する人材として165個人・団体を登録
（特産の匠74、伝承の匠57、創作の匠34）
- ③ 「とやま食の街道」のクーポン付きリーフレットの作成・配付
- ④ 「越中とやま食の王国フェスタ」冬の陣で「越中料理と地酒を楽しむ会」を実施。205名に県産食材を使った越中料理や地酒をPR

- ① 家庭教育かわら版の秋・冬号で「早寝・早起き・朝ごはん」などの規則正しい生活習慣を啓発（小学2年までの保護者に7万部配布）
- ② 8市町村で計219回の講座を開催。子どもや地域住民約1万人が農業体験や料理教室に参加
- ③ 食生活改善推進連絡協議会が「三世代ふれあいクッキングセミナー」を101回実施、3,664人が参加
- ④ 食生活改善推進連絡協議会が市町村推進員への研修会を実施（25回781人）。地域住民を対象とした「いきいきとやま食育クッキング」の開催（25回843人）
- ⑤ 栄養士会が高校、専門学校、事業所等に講師を派遣（計13回）し、351名の若者に食生活の正しい知識を啓発
- ⑥ 食生活改善チェックシート（シニア世代編）を作成し、食育リーダー等による普及、イベントで活用
- ⑦ 「健康づくり協力店（飲食店等123店舗）」を巡回し、富山型食生活などを普及・啓発

- ① ものさし、カレンダーにより、栄養バランスの良い朝ごはんをとることの大切さを啓発
- ② 栄養教諭を増員配置（H22：20名→H26：29名）。農業・親子料理教室、教科や特別活動における指導の充実、食育だより等の発行など、食に関する計画的・継続的な指導により、学校・家庭・地域が連携した取組みを実施し、食育や地産地消を推進
スーパー食育スクール事業実施校において、「わが家のおすすめ朝ごはん」レシピの募集とレシピ集の校区内への配布

- ① 栄養士など42名の食育リーダーが登録され、地域の講演会・研修会に49回派遣
- ② 若い保護者世代を対象に、食と健康や正しい食習慣に関する知識等を紹介する食育講座（31回）に講師を派遣。
- ③ 子育て家庭のふれあいを深める機会を支援する店舗数2,326。「家族そろっての食事」等を支援
- ④ 各厚生センターにおいて関連教材の貸出し（106回）や出前イベント（13回）を実施
- ⑤ スーパーマーケット等の民間産業と連携してメニュー改善に向けた取組みを実施。食環境整備講習会の開催や、ホームページによるバランスアップ情報の発信など、県民の生活習慣病予防対策を推進。
飲食店と連携し、栄養バランスの良いヘルシーメニューの開発を支援。
- ⑥ 若者向け食育啓発イベント（7回）や「朝食レシピコンテスト」開催並びに「若者向け簡単朝食レシピ」作成・配布による、朝食摂取等の啓発

- ① 健康食品の過剰摂取の効果とリスクをテーマとしたフォーラム（1回：160名）や、「食の安全・安心フェア～今、富山からできること～」の開催
- ② 食品安全や表示などに関する適時的確な情報提供を実施（2万6千件のアクセス）
- ③ 食品表示ウォッチャーによる食品表示実態調査の実施。食品表示講習会の開催（3回）や研修会等への講師派遣などにより、食品事業者などに対し適正な食品表示を指導